

〔雜筵醉狂集〕夏ある清家の人より蚊帳つりたる所の繪賛を望まれて、
清原のふかやぶよりも聲たて、まだ宵ながら蚊帳つらする

此歌も深養父歌をとる、深き藪に取なせり、

〔續近世畸人傳三〕加賀千代女略○中

千代女は加賀の松任の人にて幼より風流の志ありて俳諧をたしむ略○中 廿五歳にて夫にわか
れし時、

起て見つ寐てみつ蚊屋れひろさ哉